# のり養殖通報第10報

千葉県水産総合研究センター東京湾漁業研究所千葉県農林水産技術会議平成25年3月6日発行

## [気象]今後は気温高め傾向

- 2月下旬~3月5日の日照時間は7.2時間/日(平年6.5時間),降水量は20 mm(平年32 mm)で,晴天の日が増えてきた(新富津気象盤)。気温は強い南風が吹いた一時期を除いて低め基調が継続(図1)。
- 気象予報によると、今後は気温が高めに転じ、中旬以降は短い周期で低気圧が通 過して天気が変化すると予報されている。

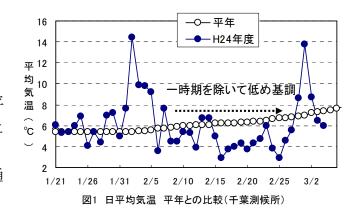
# [海況]植物プランクトン減少。栄養塩は十分

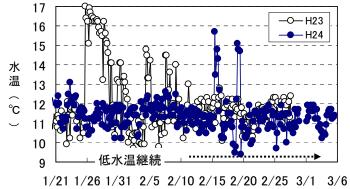
- 黒潮からの暖水ののり漁場への直接的な影響は弱まっている。新富津のり漁場における観測値では水温は10~11℃台で推移し、ほぼ最低水温を維持している(図2)。
- 〇 3月4日に実施した東京湾の観測結果では、表層水温は内湾で $8\sim9$ ℃、内房では $9\sim11$ ℃台で半月前とほぼ同じ水温帯。植物プランクトンはディチウム、タラシオシラ、ユーカンピア等の珪藻が見られるが量的には減少し透明度が回復。周期的な降雨もあり栄養塩は十分な量に回復した(表 1)。

## 「今後の見込みと留意点」赤潮発生に注意

- 植物プランクトンは減少したが、最も色落ち被害をもたらすユーカンピアは現在も散見されている。高気温で晴天の日が続くと赤潮が発生し栄養塩が減少する可能性がある。
- 3 月中旬以降は周期的な降雨が期待出来,一旦栄養塩が減少しても十分に回復が見込める。計画的な冷蔵網生産を継続してください。

本情報は東京湾海象情報システムよりダウンロードできます。 次回は3月19日頃発行します。





1/21 1/26 1/31 2/5 2/10 2/15 2/20 2/25 3/1 3/0 図2 昨年と今年の水温経過(新富津観測ブイ)

#### 表 1 水質観測結果(3/4)

	水温	塩分	рН	透明度	窒素	リン
船橋	8.6	31.3	8.2	5.0	455	18
盤洲Bブイ	9.6	32.3	8.1	8.5	396	16
盤洲Aブイ	9.1	32.3	8.1	8.0	397	16
富津ベタ	9.2	31.9	8.1	6.0	346	20
2海ほ下	9.7	32.5	8.1	9.0	409	21
大貫沖	11.5	33.6	8.2	7.5	250	17
湊沖	11.3	33.6	8.1	8.5	244	16